

下川町地域共育ビジョン

現在、世界は気候危機による課題や科学技術の進歩などにより仕事や暮らしが急速に変化しています。また、こうした変化の渦の中で、若者たちは、大人たちの考えや行動に不安や疑問を投げかけ、世界を変えようという動きも出てきています。

下川町の子どもたちが、こうした社会変化にもしなやかに対応し、挑戦、包容力や寛容性、先見性、創造性などの「下川らしさ」を引き継ぎながら、新しい地域社会を創っていくために必要な環境や機会を、地域の大人として作り出していきます。

子どもが誰ひとり取り残されず、全体が大きな家のような共育のまち

①子どものわくわくする好奇心と挑戦を育む地域

子どもの好奇心が育まれる出会いや体験と、好きなことを創造的に探究できる場をつくり、子どもが安心して挑戦し、失敗も受け入れられるよう、大人が支えます。

②かけがえのない自然・歴史・文化のバトンをつなぐ地域

子どもと大人が、下川の自然・歴史・文化を、多世代の交流や体験を通じて受け継ぎ、一緒になってまちの未来を考えます。

③のびやかな心と体がぐんぐん育つ地域

自然を活かした遊び、スポーツ、安心安全で顔の見える食など、心身を育むために必要な機会や環境をつくり、誰もが選択できるようにします。

④子どもたちがほっとする居場所がたくさんある地域

まち全体が大きな家のように、居場所や関わりをたくさんつくることで、子ども一人一人の個性を受け入れ、尊重します。

⑤子どもを真ん中に、地域・家庭・学校・保育施設がつながりアクションする地域

子どもやこれから生まれる命のために、地域・家庭・学校・保育施設が対話し、変化を恐れず、知恵と工夫を生み出し、行動します。

